

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	がん患者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	がん対策基本法	事業期間	開始年度	R3	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	現金等給付事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	がん治療に伴う外見の悩み、例えば脱毛に対応するための医療用ウィッグや、手術による乳房の形の変化に対応するための補整下着またはシリコンパット等の胸部補正具の購入にあたり、その費用の一部を補助し、がん患者の心理的・経済的負担の軽減を図る。 医療用ウィッグ：上限30,000円（付属品・ケア用品は対象外）、乳房補正具：上限20,000円
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	がん治療に対する理解を深め、健康の保持増進につなげることができる。
-------------------------	-----------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5
がん検診受診率	%	30.0	28.5	29.0	29.5	30.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	がんと診断され、その治療に伴う脱毛、乳房の切除等により、医療用ウィッグまたは乳房補正具を購入した者への購入費の一部助成を行った。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
医療用ウィッグの補助件数	件	41	42	37
乳房補正具の補助件数	件	10	12	7
事業費計	千円	1,354	1,374	1,205
一般財源	千円	861	877	780
特定財源（国・県・他）	千円	493	497	425
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	補助件数は一定数はあり、需要はあると考えられる。
------------------	--------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
がん検診受診率	%	20.7	21.4	22.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

必要な方が本事業による助成を受けられるよう、周知方法について再度確認をしていく。また、栃木県では若年がん患者を対象とする在宅ターミナルケア支援も行っており、県内8市町が実施しているため、本市においても令和7年度より導入予定。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
①ウィッグ等の購入費の補助については引き続き周知を行う。 ②令和7年度より在宅ターミナルケア支援事業を開始する。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	こころの健康づくり事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	義務の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	自殺対策基本法、 健康増進法	事業期間	開始年度	H31	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	相談事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none">自殺予防対策事業として、全庁的な連携体制のもと、関係機関等との連携を図り、市民のこころの健康づくりを推進する。自殺対策ネットワーク会議により、市、関係機関及び関係団体の自殺対策に関する連携を図る。対面相談、人材育成、普及啓発、若年層対策を実施する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が、こころの健康に対する関心と理解を深め、自らのこころと体の健康状態に合わせた日常生活を送り、健康の保持増進につなげることができる。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)		12.1	12.1	12.1	12.1	12.1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none">4月よりこころの健康相談を実施(2～3回/月)。また、庁舎や市有施設に「すこやかなこころのための手引き」や自殺予防啓発カードを設置。6月に自殺予防対策連絡会議、7月に自殺対策ネットワーク会議を開催。12月 こころの健康づくり教室を開催。1月 「二十歳のつどい」参加者への啓発物品の配布。2月 ゲートキーパー養成講習会を開催。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
こころの健康相談 利用者	人	64	57	62
ゲートキーパー累計者数	人	870	938	1,002
こころの健康づくり教室 参加者	人	19	51	45
事業費計	千円	900	1,036	1,132
一般財源	千円	274	484	563
特定財源(国・県・他)	千円	626	552	569
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	<ul style="list-style-type: none">ゲートキーパー累計者数の参加者数は順調に伸びている。また、こころの健康相談の利用者は、R5以降、40人以上の参加が得られている。市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)は、R5年では目標達成している。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)		13.8	10.4	18.4	値が小さいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R6とR5の一般財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度では、こころの健康相談を30回予定していたが、直近の日程が予約満了となり、新規の予約が2ヶ月先になってしまう方がいたのに対し、当日になってから相談のキャンセルが相次ぐ日があり、最終的には28回の実施であった。このことから、電話の相談も積極的に活用し、来庁が難しくなってしまった方にも相談の機会を設けるとともに、当日のキャンセルを防ぐようにしていきたい。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
<input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討
<input type="checkbox"/> 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)
①こころの健康相談の当日キャンセルを少なくするよう、必要に応じて、予約日前に対象者に連絡する。
②関係機関や関係団体、協力企業等と連携し、各種事業の周知を行う。
③令和7年度においても、実施状況や社会情勢をかんがみて事業の在り方を検討していく。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	保健センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	保健センター維持管理事業	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市保健センター条例		開始年度	S58	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	保健センターの維持管理に係る経費（佐野市保健センター及び葛生あくと保健センター）
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保健センターを快適に使用するための維持管理（修繕、工事、保守点検等）を行う。 ※清掃業務、機械警備保守、消防用設備等保守、自家用電気工作物保安全管理、空調機器保守点検、熱交換器保守点検、除草及び植木剪定、電話交換設備保守、定期清掃業務
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設の修繕及び工事件数（佐野）	件	2	3	1	5	1
施設の修繕及び工事件数（葛生）	件	4	4	10	6	5
各設備等の保守点検数（佐野）	件	9	9	9	4	7
各設備等の保守点検数（葛生）	件	8	8	8	9	9

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	佐野市保健センター及び葛生あくと保健センターの施設利用者数（乳幼児健診、集団健診など）
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
施設利用者数	人	12,428	11,677	3,322
事業費計	千円	19,796	19,925	21,512
一般財源	千円	10,868	10,659	9,208
特定財源（国・県・他）	千円	8,928	9,266	12,304
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設利用者に対し、安心・安全な利用を促すことができた。
------------------	-----------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
施設の修繕及び工事件数（佐野）	件	3	1	5	値が大きいほど良い	効果が上がった
施設の修繕及び工事件数（葛生）	件	4	10	6	値が大きいほど良い	効果が下がった
各設備等の保守点検数（佐野）	件	9	9	4	値が大きいほど良い	効果が下がった
各設備等の保守点検数（葛生）	件	8	8	9	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標	
	効果は変わらない指標数 0指標	
	効果が下がった指標数 2指標	
	指標全体	効果は変わらない

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		○	
費用の増減無し			
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野市保健センターでは、大規模改修工事が行われたため、施設の安心・安全な利用が期待されることとなった。一方、葛生あくと保健センターは建設から年数が経過しており、修繕が必要な箇所が年々増えている。そのため、利用者が安心・安全に利用できるよう、保守点検を実施し、速やかに修繕を進める必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	健康マイレージ事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
政策体系	係	健康づくり係	根拠法令、条例等	事業期間	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	3111			目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3			開始年度	H31	実施方法	一部委託
	政策	1			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1						
基本事業	1							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	ウォーキングや健診・検診受診等の健康づくり活動に取組んだことに対し、ポイントを付与する事業。一定のポイントを達成した方にデジタルギフト等を贈呈する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	ポイントを付与するという特典を設けることにより、市民の更なるモチベーションの向上や、今まで健康づくりにあまり関心のなかった方、いわゆる「健康無関心層」の方に対してアプローチを行うことを狙いとする。 また、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、自らの主体的な健康づくりにつなげることができる。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康マイレージ参加者	人	130	140	2700	3500	5500
景品贈呈者(目標達成者)	人	100	110	1200	1500	3000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	※令和5年度はデジタル推進課の予算でアプリを実施 ※令和6年度はアプリを健康増進課で引き継いで実施 ※令和3～4年度は、記録用紙を用いた方法で実施。 4月 事業者との打合せ開始(月1回) 5月 休眠アカウント削除 6月 キャンペーン開始。チラシやポスター、広報等を用いて周知。 12月 アンケート作成及びアンケート実施 1月 キャンペーン終了 3月 QUOカードPayの配布
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
アクティブ参加者の平均歩数	歩	-	6,001	6,409
事業費計	千円	171	12,470	12,992
一般財源	千円	135	3,840	0
特定財源(国・県・他)	千円	36	8,630	12,992
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	参加者は年々増加している。R5→R6にかけて、目標の達成ノルマを上げた中でも目標達成者は増えている。そして、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、自らの主体的な健康づくりにつなげることができている。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康マイレージ参加者	人	144	2655	3865	値が大きいほど良い	効果が上がった
景品贈呈者(目標達成者)	人	123	1214	1586	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R6とR5の一般財源増減)	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断
効果(R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	
	効果は変わらない指標数	
	効果が下がった指標数	
	指標全体	効果が上がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R6年度では一定のポイントを達成した方全員に景品をプレゼントしていたが、R7年度においては事業費の削減のため、一定のポイントを達成した方の中から抽選でプレゼントとするかを検討していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
①ポイント達成者へのプレゼント配布方法を検討する。 ②関係機関や協力企業等と協働し、事業の周知に努めていく。 ③事業者委託コストがかかるため、R7年度中にR8年度に向けた事業費や事業の在り方を再検討していく。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市地域保健協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			佐野市地域保健協議会参画事業	款	4	新規or継続	継続事業
政策体系	係	健康づくり係	根拠法令、条例等	事業期間	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	3111			名称	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3			健やかで元気に暮らせるまちづくり	開始年度	S51年度	実施方法	直営
	政策	1			疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	1			心と体の健康づくりの推進				
基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市の医療実態を調査し、佐野市医師会、佐野市、安足健康福祉センターの協力体制を確立して、地域保健の向上を図る佐野市地域保健協議会に対して負担金を支出し、事業を実施する。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が自分の健康状態を把握し、自主的に健康づくりに取り組むようになる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	〈市の活動〉 佐野市地域保健協議会に負担金を支出。 総会、月例会議に参加し、各議題等について協議を行った。 団体の事業に協賛した。	活動指標	単位	R4	R5	R6
	〈団体の活動〉 産婦人科医による市内中学校等への健康教育や健康まつりでの血糖検査、健康づくりや健診受診啓発チラシの作成、配布を行った。	月例会議開催回数	回	10	8	9
		月例会議出席者	人	62	50	50
		事業費計	千円	600	600	600
		一般財源	千円	600	600	600
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	佐野市の健康に関する課題の一つである健診・検診の受診率が低いことに関しては、前年度と比較し、受診率増となっている。しかし、効果指標である健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少してしまった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		1指標			
	指標全体	効果が下がった				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

健康づくりに取り組む市民の数が増やせるよう事業内容を見直す必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	健康課題、市民のニーズを把握し、十分に検討しながら事業を実施する。
------	-----------------------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県市町保健師業務研究会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	健康増進課			佐野市地域保健協議会参画事業	款	4	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	健康づくり係	名称	根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	3111			目	1	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	3			健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S59	実施方法	一部委託
	政策	1			疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	終了年度	-	事業分類	参画事業	
	施策	1			心と体の健康づくりの推進					
基本事業	1	健康づくりの推進								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・栃木県市町保健師業務研究会会員負担金 ・研究会に参加し、研修・調査・研究することにより、保健師の資質の向上を図り、地域住民の健康と福祉の向上に寄与する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保健師一人一人が保健師としての役割を理解し、市民の健康づくりに役立てる。
-------------------------	--------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	〈市の活動〉 栃木県市町保健師業務研究会に負担金を支出、総会及び研修会への参加 〈研究会の活動〉 総会及び研修会、役員会 役員はブロック毎に選出し、安足ブロックは2年ごとに足利市と佐野市が交互に担当する。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
本市の研修会参加者数	回	20	10	11
事業費計	千円	24	23	25
一般財源	千円	24	23	25
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	保健師が健康に関する最新の知識を深め、その知識を市民に還元したが、健康づくりに取り組む市民を増やすことはできなかった。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

保健師の活動は多岐にわたるため、引き続き最新の知識を得て、資質の向上を図る必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
①分散配置となっている保健師が、偏りなく研修会に参加できるよう調整する。 ②健康課題、市民のニーズを把握し、十分に検討しながら事業を実施する。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	食育推進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	農政課			予算科目	款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		食育基本法	事業期間	開始年度	H21	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	啓発事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、佐野市食育推進計画を推進する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	食育の推進	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		食育に関心がある市民の割合	%	70	72	74	76	78
		成分表示を参考にしている市民の割合	%	60	62	64	66	68

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	・食育推進会議の開催 ・食育講座の開催	活動指標	単位	R4	R5	R6
		食育推進会議	回	1	2	2
		食育講座	回	0	1	1
		事業費計	千円	15	25	25
		一般財源	千円	15	25	25
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
	（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	生涯にわたり、心身ともに健康で、生き生きと生活できるようにする。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		食育に関心がある市民の割合	%	70	78	83	値が大きいくらい良い	効果が上がった
		成分表示を参考にしている市民の割合	%	63	58	65	値が大きいくらい良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が上がった			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 現状維持
---	------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	骨髄移植ドナー支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	骨髄移植ドナー支援事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3111	名称	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業	開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	期間	終了年度	-	事業分類	現金等給付事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進	佐野市骨髄移植ドナー支援事業 奨励金交付要綱				
	基本事業	1	健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	骨髄または末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業者等に対し、助成金を交付することで骨髄等の移植の推進及びドナー登録の推進に寄与することを目的とする。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	骨髄等のドナーは、提供時の休業等による経済的負担から、移植に至らないケースが多数あると言われている。そこで、負担を軽減し提供へのハードルを下げることで、ドナー登録の普及及び骨髄提供者の増加を図り、市民の健康に資することを目的とする。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
佐野市の骨髄等の提供支援数	件	1	3	1	2	3

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	骨髄移植ドナー支援事業奨励金の交付対象者へ奨励金を交付した。 市ホームページ、広報紙に事業内容を掲載し、周知した。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
佐野市の骨髄等の提供支援数(個人)	人	3	1	3
佐野市の骨髄等の提供支援数(事業所)	件	2	1	1
事業費計	千円	560	210	490
一般財源	千円	280	105	245
特定財源(国・県・他)	千円	280	105	245
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	骨髄等の移植をしたものに支援をした。
------------------	--------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
佐野市の骨髄等の提供支援数	件	3	1	3	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R6とR5の一般財源増減)	費用が増加した	
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの市民が骨髄等の移植及びドナー登録を行えるよう周知を行う必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	さの健康2 1プラン策定事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	健康増進課				さの健康2 1プラン策定事業	款	4	新規or継続	新規事業
	係	健康づくり係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	R6年度	実施方法	一部委託	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R7年度	事業分類	計画策定・管理事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	「さの健康2 1プラン（第2期計画）」の期間終了に伴う見直しを行い、「さの健康2 1プラン（第3期計画）」を策定する。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	心身ともに健康でいきいきと生活できるようにし、健康寿命の延伸を図れるようになる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	-	-	-	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	生活習慣調査の実施、調査報告書、最終評価報告書の作成 さの健康2 1プラン庁内委員会の開催（5回） さの健康2 1プラン庁外委員会の開催（2回） 庁議	活動指標	単位	R4	R5	R6
		策定委員会・検討部会（庁内委員会）の開催	回	-	-	5
		健康づくり推進協議会（庁外委員会）の開催	回	-	-	2
		事業費計	千円	0	0	1,344
		一般財源	千円			1,344
		特定財源（国・県・他）	千円			0
		（うち受益者負担）	千円			0

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	市民一人ひとりが生涯にわたり、主体的に健康づくりに取り組むため、また、個人の健康づくりを地域や行政など、社会全体で支援していくための諸活動の指針となる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	-	-	72.6	値が大きいほど良い	

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		0	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0			
	効果が下がった指標数		0			
	指標全体	効果は変わらない				
			費用は下がった			
			費用の増減無し			
			費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

次期計画策定において、実情に則した計画の目標値設定が必要。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	業務委託事業所と密に連携を図りながら、効率よく計画策定出来るよう取組む。
------	--------------------------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野食品衛生協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			佐野食品衛生協会支援事業	款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S38	実施方法	一部委託	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	終了年度			事業分類	支援事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野食品衛生協会に補助金を交付し、佐野市食品衛生協会が行う食品の衛生普及向上活動を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健康づくりの基礎のひとつとなる食品について、営業者として食品衛生について自覚を促すと共に食品衛生の普及啓発をする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市食品衛生協会に補助金を交付するための事務。総会に出席。 <団体の活動> 役員会、理事会、総会、指導員養成講習会、食品衛生指導員研修会及び部会、営業施設の食品衛生巡回指導、食品衛生責任者養成講習会、食品衛生責任者再教育事業、調理師試験準備講習会、消費者懇談会等を実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		講習会及び研修会等延べ参加者数	人	854	378	727
		営業施設の食品衛生巡回指導延設数	施設	1,150	1,005	899
		事業費計	千円	50	50	50
		一般財源	千円	50	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円					

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		1指標			
	指標全体	効果が下がった				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が健康づくりに取り組めるよう、当協会が食品の安全・衛生について講習会や研修を実施できる環境を整える必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き、当団体の活動に支援していく。
---	-----------------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	保健事業推進協力支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予 算 科 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課				保健事業推進協力支援事業	款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S50	実施方法	直営	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業		
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市医師会に交付金を交付し、佐野市で行う各種健診・健康相談・教室・予防接種に対して、各医療機関との調整や医師の割振りなどを依頼している。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の健康づくりが図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		特定健診受診率	%	36.0	34.5	35.0	35.5	36.0
		がん検診受診率	%	30.0	28.5	29.0	29.5	30.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市医師会に交付金を交付するための事務（申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、交付金の交付）。 <佐野市医師会の活動> 各種保健事業への協力。各種検診や各種予防接種やにおける市との協議、指導及び各医療機関との調整。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		医師会会員数	人	190	205	204
		医療機関数（歯科除く）	箇所	78	79	78
		事業費計	千円	900	900	900
		一般財源	千円	900	900	900
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	特定健診、がん検診とも受診率は目標値には達していないが、年々増加している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		特定健診受診率	%	32.5	33.7	35.3	値が大きいくらい良い	効果が上がった
		がん検診受診率	%	20.7	21.4	22.6	値が大きいくらい良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医師会に協力を得ながら各種事業を実施し、特定健診受診率及びがん検診受診率は増加しているため、特に検討事項なし。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	引き続き、当団体の活動を支援していく。
------	---------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	健康まつり開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	健康づくり係	名称	根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	3111			目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3			事業	開始年度	S58	実施方法	一部委託
	政策	1			期間	終了年度	-	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1							
基本事業	1								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民一人ひとりが、健康でいきいきと生活できるよう、健康に対する正しい知識の普及を図るとともに、自らの健康づくりへの意識を高め、活気あるまちづくりを目指すことを目的に開催する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。
-------------------------	-----------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	8月：開催日確定 9月～10月：各団体委託契約（足利歯科衛生士会、県栄養士会安足支部、県看護協会安足支部）、事前打ち合わせ 11月：イオンモール佐野新都市にて健康まつりを実施（健康クイズ、健康チェック、簡易HbA1c検査、健康相談、栄養相談、歯科相談、骨密度測定） 各コーナーを設け、健康づくりの意識と健康に関する知識の普及啓発を図った。また、協力企業とも連携を行い、物品の配布も行った。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
参加者延人数	人	668	1,541	1,812
参加団体数	団体	6	9	12
事業費計	千円	108	120	190
一般財源	千円	108	120	0
特定財源（国・県・他）	千円			190
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	R5に比べても、参加者は更に増加している。まつり参加者に対し、相談やクイズ実施など健康に関する知識を広く啓発することができている。しかしながら、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少し、健康に関係した情報提供の強化が必要。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 1指標 指標全体 効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		○
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

参加者より「会場が2会場に分かれているため、わからない。整理券の配布場所がわからない。」との意見があった。今後は更に参加しやすい会場設営等を検討し、通りがかりの人でも気軽に参加できる事業を行えるよう内容を検討していく必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
今後も委託団体や協力企業と連携し、参加しやすいイベントを実施する。そして、健康に関する知識の普及啓発を行う。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	健康サポートさの活動推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課				健康サポートさの活動推進事業	款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				業	項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	H24	実施方法	直営	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	1	健康づくりの推進							
			健康増進法 佐野市健康長寿推進条例 さの健康 2 1 プラン							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民の健康づくり推進のために活動する「健康サポートさの」に対して交付金を支出し、その活動を支援する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健康に対する正しい知識の普及を図り、健康意識の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		活動における参加者数	人	1,280	1,320	1,350	1,370	1,390

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<市の活動> ・健康サポートさのに交付金を支出する事務 ・各支部活動に対する助言指導、会員の養成講座等の支援 <団体の活動> ・7支部に分かれ、各種教室を企画し開催 ・日本食生活協会や栃木県からの委託事業を実施	活動指標	単位	R4	R5	R6
		会員数	人	123	119	109
		活動回数	回	82	86	87
		養成講座修了者数	人	11	5	9
		事業費計	千円	600	600	500
		一般財源	千円	600	600	500
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	活動回数はほぼ変わらなかったが、活動参加者数が減った。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		活動における参加者数	人	1,293	1,882	1,519	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			○
	効果が下がった指標数		1指標			
	指標全体	効果が下がった				
			費用は下がった			
			費用の増減無し			
			費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

会員の高齢化に伴い、会員数が徐々に減っており、若者世代の会員の養成が必要である。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	市民への健康づくりの啓発や地域における健康づくりの推進のために、健康サポーター（会員）の人材育成を行う。
------	--

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	健康増進事業等推進協力支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	健康増進課			健康増進事業等推進協力支援事業	款	4	新規or継続	継続事業
政策体系	係	健康づくり係	根拠法令、条例等	事業期間	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	3111			名称	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3			健やかで元気に暮らせるまちづくり	開始年度	S50	実施方法	一部委託
	政策	1			疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1			心と体の健康づくりの推進				
基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	県内の健康増進事業の実施にあたり、（一社）栃木県医師会及び（一社）栃木県歯科医師会の協力を得て一層の推進を図るため、交付金を交付する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	医師、歯科医師の協力により、疾病の予防及び重症化防止の健康教室、また健（検）診を実施することにより、疾病の予防・早期発見と早期治療を行い、市民の健康の保持増進を図る。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 市の活動 （一社）栃木県医師会、（一社）栃木県歯科医師会へ請求書に基づき、交付金を交付する。 （一社）栃木県医師会、（一社）栃木県歯科医師会の活動各種委員会活動、市民フォーラム等の開催
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
健康増進事業の参加者数	人	1,931	3,426	3,355
事業費計	千円	569	569	569
一般財源	千円	569	569	569
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	事業への参加者は増加しており、健康に関する知識を深めることができています。しかしながら、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少した。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			○
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医師、歯科医師の協力により様々な年齢層や職種の市民が参加することができた。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	事業の開催日時・会場の設置や関心の高いテーマの選択、また広報媒体や地区組織等の活用を検討し、引き続き健康増進事業を行っていく。
------	---

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	健康長寿推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	4-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	健康長寿推進事業	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	健康増進法、佐野市健康長寿推進条例	事業開始年度	R5年度	実施方法	直営	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	健康寿命の延伸を目指し、市民が生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことができるよう、①健康づくりに関する基本理念等を定めた条例に基づき、健康づくりに関する関係団体等との協働による健康づくりの施策を総合的かつ計画的に推進する。②健康増進法第17条第1項及び第19条の2に基づく健康増進事業を実施する。③さの健康21プランに基づく事業を推進する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	心身共に健康でいきいきと生活できるようにする。
-------------------------	-------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	-	-	75.5	76.0	76.5
特定健診受診率	%	-	-	35.0	35.5	36.0
がん検診受診率	%	-	-	29.0	29.5	30.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 5月に協定締結事業所と健康・長寿づくり協働事業情報交換会を実施し各事業所の取り組み内容や意見交換をした。 11月にクオール株式会社と協定締結をした。 13事業所に健診やこころの健康教室などの周知依頼をした。 健康サポートステーション及び依頼時健康教育で、生活習慣の改善の必要性について指導した。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
協力企業との協定締結数(身)	件	-	12	13
事業の実施回数	回	-	204	195
事業の参加者数(延人数)	人	-	3,426	3,355
事業費計	千円	0	83	1,614
一般財源	千円		28	699
特定財源(国・県・他)	千円		55	915
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	特定健診受診率及びがん検診受診率は微増し、協定企業による周知活動が受診率向上に寄与していると考えられる。健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少し、健康に関係した情報提供の強化が必要。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	-	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
特定健診受診率	%		33.7	35.3	値が大きいほど良い	効果が上がった
がん検診受診率	%		21.4	22.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R6とR5の一般財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果(R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が上がった	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

議会から、本市の健康長寿延伸を実現させるために、現在高値である脳血管疾患標準化死亡比を下げられるような事業の実施について、令和7年度予算審査要望書で意見があったことを踏まえ、更なる健診受診勧奨や保健(栄養)指導、健康教育等の強化が必要。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)
①各種健(検)診や健康教室のPRを企業と協力して行い、受診率向上や各事業の参加者の増加を目指す。 ②自身の野菜摂取量や体組成の実態を知ることで、生活習慣を振り返り、食習慣等の生活習慣を改善するきっかけとなることを目的に測定会を実施する。 ③健康教育等で、本市の脳血管疾患標準化死亡比が高い現状と予防法を周知する。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県公衆衛生協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課				栃木県公衆衛生協会参画事業	款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				事業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S42	実施方法	直営	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	参画事業		
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県の公衆衛生の向上発展に寄与することを目的に公衆衛生事業に関係する団体で組織されている栃木県公衆衛生協会に会員として参画して負担金を支出している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	対象の栃木県公衆衛生協会会員である各団体が、健康及び環境問題に対する認識を深めると共に関係者の資質の向上を目指す。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<p><市の活動> 栃木県公衆衛生協会に負担金を支出するための事務。 県と安足地区保健衛生事業功労者表彰候補者の推薦。</p> <p><団体の活動> 大会、支部大会、学会、幹事会、評議員会等を実施した。</p>
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
会議の開催回数	回	4	4	4
栃木県公衆衛生協会会員数	団体	68	68	68
事業費計	千円	7	7	7
一般財源	千円	7	7	7
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少しているため、健康に関係した情報提供の強化が必要。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいくらい良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			○
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公衆衛生の向上発展は必要であり、効果もみられるため特に検討事項なし。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	引き続き、当団体の活動に参画していく。
------	---------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	熱中症対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し			
	課	気候変動対策課				熱中症対策事業	款	4	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	気候変動対策係		根拠法令、条例等	事業科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	3111	名称			根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			気候変動適応法	事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度		事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進								
基本事業	1	健康づくりの推進									

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	総合的な熱中症対策事業を展開し、熱中症の発生を抑制する。
------	------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	熱中症による救急搬送者数を減少させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%			75.5	76.0	76.5
		救急搬送者数	人			72	72	72

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none">予想最高気温及び暑さ指数掲示（4月～10月） 本庁舎、各行政センターにさのまる看板を設置熱中症警戒アラート発表時または熱中症の危険が高い場合に、佐野市防災・気象情報メールや防災無線、SNSを活用して注意喚起を行った。適切な熱中症予防の普及・啓発及び取組を実践できる人材を養成することを目的とし、職員を対象に熱中症対策アンバサダー養成講座を開催した。熱中症予防のための気候変動適応法に基づくクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の設置
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
クーリングシェルター（旧涼み処）設置数	箇所		32	66
熱中症対策アンバサダー養成講座受講者数（延べ）	人		62	103
熱中症に関する健康教育の実施回数	回		5	4
事業費計	千円	0	304	2,542
一般財源	千円		304	2,532
特定財源（国・県・他）	千円			10
（うち受益者負担）	千円			10

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	クーリングシェルター設置数は倍増となった。 また、令和5年度の救急搬送者数より僅かながら減った。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
救急搬送者数	人	72	88	84	値が小さいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		1指標			
	指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・「涼み処」から気候変動適応法の改正に伴い名称をクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）に変更し、体調不良者だけでなく誰でも利用できる施設に変更したが認知度が市民アンケートによると25%という結果だった。今後は認知度を上げるための啓発を強化して行く必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・熱中症の啓発のため標語コンテストを実施する。 ・クーリングシェルターの普及・啓発 ・熱中症普及団体の指定を行う。
---	---

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	小学校児童フッ化物洗口事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	学校教育課				小学校児童フッ化物洗口事業	款	10	新規or継続
政策体系	係	学務係		根拠法令、条例等	事業期間	項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
	体系コード	3111	名称			目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市立学校において、週1回全児童にフッ化物による洗口（うがい）の指導を行う。
------	---------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	児童のむし歯予防の一環として実施することで、有病率の低減を図り、歯の健康の保持増進を図る。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
実施のべ児童数	人	105,319	85,338	130,272	133,022	130,022
むし歯の有病率	%	48.5	42.8	41.5	40.1	40.1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	市立小学校及び、義務教育学校前期課程において、毎週1回全児童にフッ化物による洗口（うがい）の指導を行った。 4月 各学校に実施依頼 4月 人数の把握と消耗品のとりまとめ 5月 消耗品の発注納品 通年 フッ化物洗口指導 3月 実施報告書提出
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
実施校	校	16	16	18
5/1児童数	人	5,294	5,161	5,048
事業費計	千円	349	390	579
一般財源	千円	288	375	524
特定財源（国・県・他）	千円	61	15	55
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	児童の歯の健康に関する知識が深まり、むし歯の有病率を低減させる。
------------------	----------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
実施のべ児童数	人	85,338	130,272	130,022	値が大きいほど良い	効果が下がった
むし歯の有病率	%	42.8	41.5	40.1	値が小さいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		1指標			
	指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和4年度から国の「口腔保健推進事業費補助金」の対象事業となっていることから、今後も引き続き補助金を活用し、児童のむし歯有病率の低減を図る。事業の効果を共有し、今年度は全校での実施した。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	がん検診等事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			がん検診等事業	款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	義務的の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	・健康増進法	事業期間	開始年度	S57	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	終了年度	-	事業分類	健診・予防事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
基本事業	2	健診（検診）の受診率向上							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき各種がん検診、結核検診、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診、生活保護受給者健診を実施する。対象者には、各検診・健診の受診券と案内を一つの冊子にまとめたけんしんスタートブックを送付している。 子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を対象者に発行し、検診受診率の向上を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が検診を受診することで、がんの早期発見及び早期治療につなげる。(大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、胃がん、前立腺がん)	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		がん検診受診率	%	30.0	28.5	29.0	29.5	30.0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	・市民の検診への意識向上と受診率向上のため「けんしんスタートブック」を作成し、郵送した。(5月) ・集団検診申し込みについては、ネット予約を行った。(6月～) ・無料クーポン対象者への受診勧奨(9月)、精密検査未受診者への受診勧奨(9,1,3月)を行った。 ・受診率向上のため、広報やHPで受診啓発を行ったり、医療機関でのポスター貼付や健康教育などでチラシを配布するなどさまざまな機会を受診勧奨を行った。(適宜)
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
個別がん検診医療機関	箇所	53	53	51
集団検診回数	回	139	135	133
事業費計	千円	141,537	143,773	155,754
一般財源	千円	135,199	137,477	149,528
特定財源(国・県・他)	千円	6,338	6,296	6,226
(うち受益者負担)	千円	4	4	4

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	検診受診率について、目標値には届いていないが、微増傾向にある。
------------------	---------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
がん検診受診率	%	20.7	21.4	22.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用(R6とR5の一般財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果(R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

検診受診率は国、県の計画には及ばず(国・県ともに受診率目標60%)、低い状況が続いている。 受診率の向上のため、費用の負担軽減、受診環境、周知方法の検討が必要。 集団検診の会場について、佐野市保健センターの改修が終わり、R7年度より使用可能となったため、周知が必要。 佐野市医師会より、「胃がん検診の検査項目に胃内視鏡検査の追加」について要望があり、検診内容の検討が必要。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	①骨粗しょう症検診の開始 ②歯周疾患検診の対象者に新たに20歳、30歳も追加 ③R6より肺がん、大腸がんを無料としたが、他のがん検診の費用についても検討 ④検診の周知方法の検討
------	---

- 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	健診充実事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課	健診充実事業		款	4	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	健康づくり係		根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
	体系コード	3112	名称		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H20年度	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	健診・予防事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
基本事業	2	健診（検診）の受診率向上							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	国の指針で示されている健診項目以外に、市民の健康の保持増進を図るため、心電図検査、血清クレアチニン検査を受診者全員に実施する。 ※国民健康保険加入者以外も対象
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	検査項目の充実により、心疾患や腎機能障害等の早期発見と発症の予防が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		特定健診受診率	%	36.0	34.5	35.0	35.5	36.0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	市民への健診への意識向上と受診率向上のため、「健診スタートブック」を作成し、対象者全員に世帯ごとに郵送した。その他随時、広報やホームページでの受診啓発を行ったり、健康まつりや健康教育など様々な機会でも受診勧奨を行った。 また、未受診者に対して、人工知能を活用した受診勧奨通知の発送（年3回）や、医療保険課と合同で電話勧奨を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		心電図検査受診者数	人	5,889	5,957	5,952
		血清クレアチニン検査受診者数	人	4,722	4,760	4,245
		事業費計	千円	5,932	7,095	7,000
		一般財源	千円	1,586	2,033	2,334
		特定財源（国・県・他）	千円	4,346	5,062	4,666
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	目標値には達してはいるが、特定健診受診率は増加している。また、心電図・血清クレアチニン検査の受診者数も増加している。更なる受診率の向上が必要。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		特定健診受診率	%	32.5	33.7	35.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果が変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用は下がった	費用が増減無し	費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

40～50代の率が20%台と低いため、働き世代の受診率向上対策を健康・長寿づくり連携協定企業等と協力しながら進めていく。 電話勧奨時に聴取した未受診の理由で、医療機関に定期受診中という方が多いため、佐野市医師会との協力・連携が必要。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①受けやすい受診環境の維持 ②若い世代に向けた受診率向上対策 ③佐野市医師会との連携の強化
---	---

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	特定健康診査事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	会計	国民	事業計画	単年度繰り返し			
	課	健康増進課				特定健康診査事業	款	4	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	健康づくり係		根拠法令、条例等	項目	2	市単独or国県補助	国県補助事業			
	体系コード	3112	名称			根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	義務の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			高齢者の医療の確保に関する法律	事業期間	開始年度	H20年度	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	-	事業分類	健診・予防事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進								
基本事業	2	健診（検診）の受診率向上									

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市が医療保険者となっている佐野市国民健康保険において、加入者に対して特定健康診査を実施する。 対象：40～74歳の国保加入者 実施方法：個別健診（協力医療機関で実施する健診）または、集団健診（保健センター等で実施する健診）
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を受診することで、生活習慣病予防と重症化防止を図り、健康の保持増進につなげる。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
特定健診受診率	%	36.0	34.5	35.0	35.5	36.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	市民への健診への意識向上と受診率向上のため、「健診スタートブック」を作成し、対象者全員に世帯ごとに郵送した。その他随時、広報やホームページでの受診啓発を行ったり、健康まつりや健康教育など様々な機会を受診勧奨を行った。また、健康・長寿づくりに関する協定企業に、受診勧奨チラシの配布協力を依頼した。 集団健診の予約が取りやすいように、期間限定のコールセンターを開設したり、24時間Logoフォームで予約を受け付けた。 また、未受診者に対して、人工知能を活用した受診勧奨通知の発送（年3回）や、医療保険課と合同で電話勧奨を行った。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
健診スタートブック発送数	通	49,676	49,921	49,975
Logoフォーム予約数	件	-	1,742	3,615
事業費計	千円	37,120	38,770	42,498
一般財源	千円	13,242	18,360	22,159
特定財源（国・県・他）	千円	23,878	20,410	20,339
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	目標値には達してはいないが、特定健診受診率は増加している。更なる受診率の向上が必要。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
特定健診受診率	%	32.5	33.7	35.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

40～50代の率が20%台と低いため、働き世代の受診率向上対策を健康・長寿づくり連携協定企業等と協力しながら進めていく。 電話勧奨時に聴取した未受診の理由で、医療機関に定期受診中という方が多いため、佐野市医師会との協力・連携が必要。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①受けやすい受診環境の維持 ②若い世代に向けた受診率向上対策 ③佐野市医師会との連携の強化
---	--

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県がん集検協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	健康増進課			栃木県がん集検協議会参画事業	款	4	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	健康づくり係	名称	根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	3112			目	1	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	3			健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S62	実施方法	一部委託
	政策	1			疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	1			心と体の健康づくりの推進					
基本事業	2	健診（検診）の受診率向上								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県がん集検協議会に会員として負担金を支出。 ・がん集検協議会主催の研修会に参加することにより、がん検診に関する情報収集や担当者の知識習得を行っている。※栃木県がん集検協議会とは、がんの集団検診の向上・発展を図ることを目的として、県内各市町、医師会、医療機関団体を会員として構成している団体。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	担当職員一人一人が、がん検診の意義を理解し、受診率向上の改善を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		がん検診受診率	%	30.0	28.5	29.0	29.5	30.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 栃木県がん集検協議会に負担金を支出 がん検診の情報知識の習得 <協議会の活動> 総会、理事会の開催、学術講演会、研修会の開催	活動指標	単位	R4	R5	R6
		総会出席者	人	1	1	2
		事業費計	千円	2	2	2
		一般財源	千円	2	2	2
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	担当職員ががん検診に関する情報を習得して、がん検診の意義を理解することができ、検診受診率に貢献した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		がん検診受診率	%	20.7	21.4	22.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

担当職員はがん検診に関する情報習得し、がん検診の意義を理解することができた。 令和7年度以降、がん集検協議会が協議会のあり方について検討予定。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	がん集検協議会の今後の状況により、市の負担金のあり方も検討する必要がある。
------	---------------------------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	特定保健指導事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	会計	国民	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	義務的的事业	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	2	健診（検診）の受診率向上						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	健康の保持・増進と医療費適正の観点から、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40～74歳の国保加入者に対し、特定健診の結果、健康の保持増進に努める必要がある者に対して特定保健指導を実施する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	行動変容による生活習慣及び健康状態の改善を図り、生活習慣病の発症予防と重症化を防止する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
特定保健指導実施率	%	30	35	40	25	26

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	特定健康診査の受診結果に基づき動機付け支援・積極的支援の対象者に対して、保健師、管理栄養士が保健指導を実施した。初回面接時に生活改善のための個人目標を設定し、継続的支援を4か月から6か月間行った。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
動機付け支援実施者	人	199	201	189
積極的支援実施者	人	17	24	33
事業費計	千円	1,183	1,159	1,360
一般財源	千円	214	166	454
特定財源（国・県・他）	千円	969	993	906
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	特定保健指導実施率は増加している。
------------------	-------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
特定保健指導実施率	%	23.7	26.5	28.7	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標
	効果は変わらない指標数		0指標
	効果が下がった指標数		0指標
	指標全体	効果が上がった	

効果		
費用	効果が上がった	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特定保健指導の実施率向上を目指す。特定保健指導対象者が増加すると業務量が増えるため、事業を効率的に実施できるよう検討していくことが必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	実施体制やマニュアルの再検討をする。
------	--------------------

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	人間ドック事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	会計	国保（事業）	事業計画	単年度繰り返し		
	課	医療保険課		人間ドック事業		款	4	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	国保係			根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
	体系コード	3112	名称	国民健康保険法 国民健康保険条例 高齢者の医療の確保に関する法律		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			事業期間	開始年度	S60～	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	健診・予防事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
基本事業	2	健診（検診）の受診率向上								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	疾病の早期発見、治療により、重症化を防ぎ、国民健康保険事業の健全な運営に資することを目的として、前年度以前の国民健康保険税完納世帯の被保険者が、人間ドックを受診する際にその費用の1/2（上限3万円）を助成する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	疾病の早期発見により重症化を防ぎ、医療費の適正化、国民健康保険財政の健全化を図る。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
1人当たりの医療費の伸び	%	6.4	4.0	4.2	△0.3	2.6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	佐野市民病院、佐野厚生総合病院、佐野医師会病院に委託し、人に対し、助成を行った。 ・日帰りドック 496人 ・日帰り+脳ドック 106人 ・脳ドック 41人 ・歯科検診 9人
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
受診者数	人	693	632	652
事業費計	千円	15,919	14,444	14,964
一般財源	千円	13,697	12,379	12,859
特定財源（国・県・他）	千円	2,222	2,065	2,105
（うち受益者負担）	千円	0	0	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	疾病予防、また国民健康保険制度の周知、啓発を行い、受診者数は増となった。
------------------	--------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
1人当たりの医療費の伸び	%	4	4.2	△0.3	値が小さいほど良い	#VALUE!

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果は変わらない

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

受診者数の増に向けて、制度の周知、啓発に努めていく。 人間ドックについては、助成対象医療機関をこれまでの市内3病院のほか、市外3病院にも拡大して実施する。 歯科検診については、自己負担額を無料とし、受診しやすい環境を整える。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 人間ドックについては、助成対象医療機関をこれまでの市内3病院のほか、市外3病院にも拡大して実施する。 歯科検診については、自己負担額を無料とし、受診しやすい環境を整える。
---	--

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	特定健康診査受診率向上事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保（事業）	事業計画	単年度繰り返し
	課	医療保険課				特定健康診査受診率向上事業	款	4	新規or継続
	係	国保係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	国民健康保険法 国民健康保険条例 高齢者の医療の確保に関する法律	事業期間	開始年度	S60～	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	健診・予防事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
基本事業	2	健診（検診）の受診率向上							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	疾病の早期発見、治療により、重症化を防ぎ、国民健康保険事業の健全な運営に資することを目的として、特定健康診査の受診率の向上を図ることを目的とする事業。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	特定健康診査の受診率を向上させることにより、被保険者の疾病の早期発見、早期治療につなげる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		1人当たりの医療費の伸び	%	6.4	4.0	4.2	△0.3	2.6

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	・受診履歴等のデータより受診勧奨効果が見込まれると判断された対象者に対し健康意識にあわせて勧奨通知を送付した。(実施人数18,402人) ・かかりつけ医から診療情報を提供してもらうことで、特定健康診査を受診したとみなす、「かかりつけ医との診療情報連携事業」を実施した。(情報提供者105人) ・健診未受診者に対し、電話による勧奨を行った。(実施人数1,361人) ・40代の未受診者宅を訪問し、受診啓発・勧奨を実施した。(訪問件数321件)	活動指標	単位	R4	R5	R6
		特定健康診査受診率	%	32.5	33.7	33.3
		事業費計	千円	5,821	5,971	7,763
		一般財源	千円	0	110	948
		特定財源（国・県・他）	千円	5,821	5,861	6,815
		（うち受益者負担）	千円	0	0	

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	受診率向上に資する各事業の実施により、特定健康診査受診率は年々増加している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		1人当たりの医療費の伸び	%	4.0	4.2	△0.3	値が小さいほど良い	#VALUE!

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		0	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0	費用は下がった		
	効果が下がった指標数		0	費用の増減無し		
	指標全体	効果は変わらない	費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

受診者数の増に向けて、各事業の確実な実施、及び制度の周知、啓発に努めていく。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 現状維持
---	------------------